



山口 建(やまぐち・けん)

総長 1974年慶応義塾大学医学部卒業。99年国立がんセンター研究所副所長、宮内庁御用掛就任(併任)。2000年から世界がん研究機構科学評価委員会委員、01年から(財)日本対がん協会評議員を務める。02年現職に就任。

“前向き”な姿勢が大切

がんは大変身近な病気です。男性の二人に一人、女性の三人に一人が一生のうちどこかでがんに罹(かか)ってしまいます。現状では四割が治り、六割が命を落とすとされています。しかし、生活習慣の改善、がん検診、そして、症状があるときの医療機関受診という三位一体の対策を心がければ、二割程度の向上が見込めます。また、最善のがん医療を受けることによつて、さらに二割の上積みが可能です。ここでは、方が一がんに罹つてしまったときのために、必要な知識と対処法についてお話ししたいと思います。

がんに罹ると、患者さんは「人生最大の危機が訪れた」という思いを抱きます。そういう時、患者さんや家族にとつて最も大切なことは、前向きに考える姿勢です。たとえひどい状況に陥つてしまつたと思つても、少しでも、変えられるところを良い方向に持つて行こうとする気持ちが大切です。しかし、深刻なニュースが

治療意欲高める 知識、情報

がんに関する情報は、病気の知識、治療法などの情報と、治療の副作用や後遺症への対処法など、生活の質を高めるために必要な情報とに分けることができます。現在、医師は診断の結果や治療の内容などを説明し、患者さんはそれらを受けて自分で治療法などを選択することができますようにになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ

ばかりが大きくなつてきました。その中で、情報を手に入れることができるようになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ



廣瀬 弥生(ひろせ・やよい)

疾病管理センター看護師 岡山大学教育学部養護教諭特別科修了。2002年7月静岡がんセンター病棟(幹細胞移植病棟)勤務。03年6月同センター内、疾病管理センター健康教育・研修担当に就任。

がん医療を受ける時―必要な知識と心構え

総長

山口 建氏

その感情を否定せずに、患者に寄り添うようにします。やがて、現状を理解し、恐怖混然、怒り、不安などと闘いながら、長い人生の中で、そういう状況が生まれるので、精神的にまいってしまつたら医療者の力を借りる必要があります。患者さんの感情をうまく

自分のものとして考えるという姿勢で寄り添うことです。もちろん家族にも大変つらい状況が生まれるので、精神的にまいってしまつたら医療者の力を借りる必要があります。患者さんの感情をうまく

治療に臨むときは、体調を整え、喫煙者であれば禁煙して下さい。患者さんには医療チームの一員であるという意識を持ってほしいと思います。役割は簡単で、自分の身体

がんに罹ると、患者さんは「人生最大の危機が訪れた」という思いを抱きます。そういう時、患者さんや家族にとつて最も大切なことは、前向きに考える姿勢です。たとえひどい状況に陥つてしまつたと思つても、少しでも、変えられるところを良い方向に持つて行こうとする気持ちが大切です。しかし、深刻なニュースが



がん治療についての最新情報を多角的に学ぶ 県立静岡がんセンター公開講座「安心して受けるがん医療」最前線の現場から(静岡新聞社・静岡放送主催、同センター共催、スルガ銀行協賛)の第一回講座が、先月二十二日、静岡市葵区の静岡市民文化会館で開かれました。同センター総長の山口建氏が「がん医療を受ける時―必要な知識と心構え」、疾病管理センター看護師の廣瀬弥生氏が「がん情報を手に入れよう」をテーマに講演しました。その概要を紹介します。

がん治療についての最新情報を多角的に学ぶ 県立静岡がんセンター公開講座「安心して受けるがん医療」最前線の現場から(静岡新聞社・静岡放送主催、同センター共催、スルガ銀行協賛)の第一回講座が、先月二十二日、静岡市葵区の静岡市民文化会館で開かれました。同センター総長の山口建氏が「がん医療を受ける時―必要な知識と心構え」、疾病管理センター看護師の廣瀬弥生氏が「がん情報を手に入れよう」をテーマに講演しました。その概要を紹介します。

がん情報を手に入れよう

疾病管理センター看護師

廣瀬 弥生氏

がんに関する情報は、病気の知識、治療法などの情報と、治療の副作用や後遺症への対処法など、生活の質を高めるために必要な情報とに分けることができます。現在、医師は診断の結果や治療の内容などを説明し、患者さんはそれらを受けて自分で治療法などを選択することができますようにになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ

がんに関する情報は、病気の知識、治療法などの情報と、治療の副作用や後遺症への対処法など、生活の質を高めるために必要な情報とに分けることができます。現在、医師は診断の結果や治療の内容などを説明し、患者さんはそれらを受けて自分で治療法などを選択することができますようにになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ

がんに関する情報は、病気の知識、治療法などの情報と、治療の副作用や後遺症への対処法など、生活の質を高めるために必要な情報とに分けることができます。現在、医師は診断の結果や治療の内容などを説明し、患者さんはそれらを受けて自分で治療法などを選択することができますようにになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ

がんに関する情報は、病気の知識、治療法などの情報と、治療の副作用や後遺症への対処法など、生活の質を高めるために必要な情報とに分けることができます。現在、医師は診断の結果や治療の内容などを説明し、患者さんはそれらを受けて自分で治療法などを選択することができますようにになりました。医師の話を理解し、自分で治療法などを選択するといふこ

受け止められず、あるいは、ひどく理不尽なことを言われたら、感情を害する家族もたくさんいます。しかし、患者さんは異常な心理状態におかれているのです。本心とは違う発言が出てしまいます。そういう状態がずっと続くと、怒りが爆発し、あるいは、つまらないうことがきつて、ひどく落ち込むか前向きには考えられないものもあります。患者さんの心は、「ジェットコースター受け、事実を認めることができない」と表現されています。この時期、家族は

医師の話す言葉は、早口で専門用語だらけのこともありますが、全く見ず知らずの世界に、突然放り込まれたという気になり、不安は増す一方です。こういうときには、一本の鉛筆と二冊のノートが役に立ちます。大切そうな医師の言葉や疑問に思うことなどをメモしておきます。家族は、できるだけ診療に付き添ってあげて下さい。たとえ気持ちが悪くても、患者さんが動転していても、患者さんと二人で医師の話を聞き、メモを取っておけば、より理解が深まります。

退院後は「三・三・七拍子」

治療が終わる、退院が近づくと、患者さんは精神的に高揚します。ところが自宅に帰ると、心配事を医師や看護師に相談することができません。そこで、夫婦そろって不安になり、余計な心配をしないで、途方にくれてしまいがちです。そのため「退院後は三・三・七拍子ですよ」と前もって伝えていきます。その意味は、退院後三ヶ月は手術の影いけれど、時間がたてば、元響でむしろ体調は悪化したように感じ、次の三ヶ月は悪いままの横ばい、そして次の七ヶ月で回復していく、ということ。治療を目指す手術が行われていれば、この時期の再発はまずありません。ただ、例外的な再発や手術に伴う合併症の可能性は否定できないので、体調に思わしくない変化があれば、次の診療予定日を早めてでも受診するようにして下さい。

和らげる緩和ケア

延命に役立つ治療法が尽きた場合には、積極的な治療をやめ、つらい症状を和らげる緩和ケアが行われます。この時期には、死と向き合うという意識が非常に強くなり、人生を振り返り落ち込む人もいます。この段階では、やるべきこと、やりたいこと、やるべきことを考えてみましょう。「孫の入学式までは生きよう」とか「桜の花をぜひ見たい」といったささやかな目標でも良いです。身体はがんに負けなければ、心では、がんを克服した方がたくさんいらっしゃいます。

つらい症状

がんのすべての時期を通じて、病気の克服には医師や看護師が主役を務めます。しかし、心のリハビリは患者が主役で、医療者や家族はそれに寄り添う存在です。ただ、心の症状が重い場合は、やはり積極的に医療者による心のケアを受けてほしいと思います。

正しい情報を得るために

ただ、インターネットに代わられるような、一方的に発信される情報は、内容は玉石混交で、科学的な根拠が示されていないことがあります。また、販売が目的のものも含まれ注意が必要で、情報に翻弄されないためには、情報の正確さを見極め、また、自己責任についても意識することが必要です。最後に静岡がんセン

正しい情報を得るために

ただ、インターネットに代わられるような、一方的に発信される情報は、内容は玉石混交で、科学的な根拠が示されていないことがあります。また、販売が目的のものも含まれ注意が必要で、情報に翻弄されないためには、情報の正確さを見極め、また、自己責任についても意識することが必要です。最後に静岡がんセン

正しい情報を得るために

ただ、インターネットに代わられるような、一方的に発信される情報は、内容は玉石混交で、科学的な根拠が示されていないことがあります。また、販売が目的のものも含まれ注意が必要で、情報に翻弄されないためには、情報の正確さを見極め、また、自己責任についても意識することが必要です。最後に静岡がんセン

正しい情報を得るために

ただ、インターネットに代わられるような、一方的に発信される情報は、内容は玉石混交で、科学的な根拠が示されていないことがあります。また、販売が目的のものも含まれ注意が必要で、情報に翻弄されないためには、情報の正確さを見極め、また、自己責任についても意識することが必要です。最後に静岡がんセン

正しい情報を得るために

ただ、インターネットに代わられるような、一方的に発信される情報は、内容は玉石混交で、科学的な根拠が示されていないことがあります。また、販売が目的のものも含まれ注意が必要で、情報に翻弄されないためには、情報の正確さを見極め、また、自己責任についても意識することが必要です。最後に静岡がんセン